日本正義團（酒井榮造）　紡織労働組合沼津支部、大阪紡織労働組合四貫島支部、海員協會、製鋼労働組合兵庫支部、官業統一同盟、大阪金属労働組合本部支部、関東硝子労働組合野田支部、全第八工場委員会、全第七工場委員会、全第九工場委員会、全足立支部、全高崎支部、中部農民組合中氏新次郎、海員協會横浜支部、八幡共同研究會、信州交通労働組合野溝勝、電線工組合、全泉清、日本農民組合、浜松労働組合準備委員會、佐世保労働會、民衆党中央事務局第一支部、

祝辞　中國國民党駐日総支部執行委員會、

祝辞演説　海軍協同會代表、芦谷薫、海員組合代表、新妻總壽、海軍聯盟舞鶴共立會高田鹿次郎、北海道労働倶楽部代表荒谷憲明。

別記二

一般情勢報告

一、十五年度大會決議事項中労働組合法、失業保護法、職業紹介機関改造等の労働社會立法に関しては機会ある毎に當局に建議若しくは立法運動に加盟組合又不断の努力をせられつゝあると雖も未だ其の目的を達し得ない事

は一段の勇を鼓して努力を合すべきである。

二、工場法中改正請願運動は別項（関東紡織労働組合脱退の為遂行）から遂に中止の止むなきに至ったのであるが本年度に於て日本組合の協力を得て運動を開始する豫定でその準備も為しつゝある。

三、除名並に脱退　民党組織問題に関連して日本鑛夫組合、除名関東紡織関係合同其他八ケ組合一聯合會除名並脱退、本會員約七千人を失ひ次で昭和二年三月に至り東京鉄工組合大崎第六支部に於て日共党を支持しようとする一派を生じ彼等日時たゝたま工場法の一部中に織新組合を組織せんとする希望あるを見て之等の者と策動して同支部に混乱を生ぜしめ遂に右携帯外七名の會員を除名するの止むなきに至り遂に松岡主事暴漢に襲はるゝの不祥事を生ぜしもその後同支部は同等の動揺なく直に新幹部の組織を了し陳容更に整備された。

四、脱退組合中幹部の事擅脱退を憤慨し遂に本同盟に復帰を申込むものの續出し中央合同労働組合紡績労働組合の創立も見るに至り故に中京名古屋方面、長野県岡谷、埼玉県川口、更に日本紡績罷業の結果大発展を遂げ今や會員四萬に達せんとしつゝある。

五、九州鉱業所工産党員辞任後同盟役員の辞任後の事なり居るも製鋼労働組合小倉支部主事久保時造氏の事務代行し若くは新方面を開拓し今や大勢力を形成せんとしつゝある。

六、各地のメーデー、東京、大阪、川崎、野田、因島、佐野、名古屋、四郎町、高崎等の労働都市に於ては友誼団体と共